



山階南だより

平成28年10月28日

京都市立山階南小学校

校長 深尾 則子

< 学校評価特別号 >

学校教育目標

自ら考え行動し 豊かに学び合う子の育成

目指す学校像

笑顔いっぱい 力を合わせる学校 ～心も体も健康第一～

保護者のみなさまにおかれましては、益々ご健勝のことと思います。平素は本校教育にご理解・ご協力いただき、誠にありがとうございます。

さて、7月にご協力いただきました平成28年度 前期学校評価アンケートの集計ができました。また、同時期に児童には、よりよい学校にするためのアンケート、教職員には自己評価とそれぞれの立場で振り返るためのアンケートを実施しました。これらの結果をお知らせします。

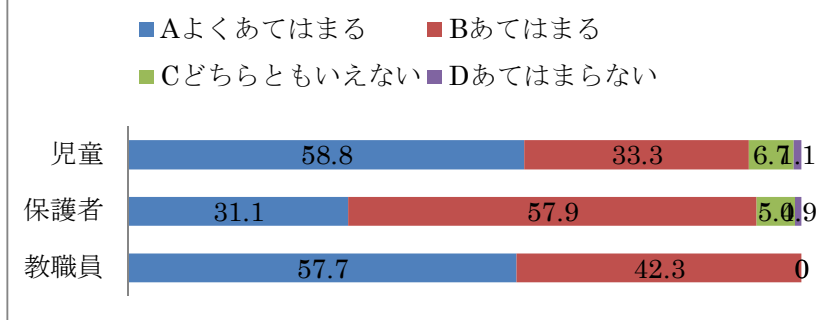
< 学校評価アンケートの集計結果について >

めあてに向かって 進んで学習する子（確かな学力）

「先生の授業は分かりやすいですか」は、児童が92.1%（「Aよくあてはまる」と「Bあてはまる」を合わせた値、以下同じ）、保護者が93.8%の回答で、昨年よりA・B評価が増えています。

分かったことをしっかり自分の力にしていきたいものです。

②授業は分かりやすいですか



「必ず宿題（自主勉強）をしていますか」は、児童の81.5%、「家庭学習するように声をかけている」は、保護者が91.7%です。しかし、18.5%の児童がC・D評価（「Cどちらともいえない」と「Dあてはまらない」を合わせた値、以下同じ）と回答しているのが気になります。宿題に止まらず予習・復習など家庭学習の習慣が身につくように、そして、忘れず提出できるように、家庭と学校が連携していく必要があります。

全ての児童が楽しく学校に通えるように、今後も教職員がより楽しい学校・学級を目指し、一人一人を大切に、「できた」「分かった」と感じられる授業と、学習内容の定着を図るために基礎基本を大切に学力保障に努めたいと思います。

よさを認め なかよく共にのびる子（豊かな人間性）

「先生に大切にしてもらっていますか」は、児童が 88.4%、「教職員は一人一人の子どもを大切にしている」は、保護者が 90.9%で、昨年と比べてどちらも A・B 評価を合わせた数が増えています。

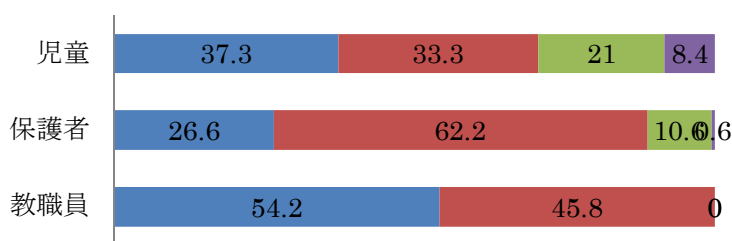
児童は、「みんなと仲良く協力していますか」に 89.0%、「友達を大切にしていますか」に 95.4%の回答でよい友達関係を作ろうと心掛けているのが分かります。

「進んであいさつをし、丁寧な言葉づかいをしている」は、児童が 81.1%で、「あいさつと言葉づかいに注意をはらっている」は、保護者が 94.0%です。アンケートの数字から、あいさつや言葉づかいなど、社会生活をしていく上で大切な習慣がつくよう、家庭や学校で働きかけているのが分かります。昨年より C・D 評価をしている児童は少し減っていますが、まだ 18.8%もいます。気持ちのよい挨拶ができる児童は増えてきていますが、言葉づかいについては継続した指導の必要があります。丁寧な言葉づかいや場をわきまえた言動など、よく考えて行動できるように育てていきたいと思います。

「困った時は先生に何でも相談できますか」は、児童の 70.6%にとどまっています。低・中学年は 90%以上が相談できると答えていますが、高学年になると C・D 評価が増える傾向にあり、成長に伴って相談する相手が変わってくることも関係がありそうです。しかし、気軽に相談ができていない現状を受け止め、優しい気持ちで接し児童との信頼関係を深めていきたいと思います。

⑥先生に何でも相談できますか

■ Aよくあてはまる ■ Bあてはまる
■ Cどちらともいえない ■ Dあてはまらない



「学校であったこと・友達のことを家族に話していますか」は、児童の 80.0%で、20.0%の児童は C・D 評価です。家でも自分からあまり話さない児童がいるようです。自分の思いをどう伝えたらよいか分からなかったり、話すタイミングがつかめなかったりするためかと考えられます。「子どもとのふれあいや対話に心掛けている」は、保護者が 96.7%ですので、限られた時間の中でも、楽しかったことや困っていることなど親子で話ができるようにしていただければと思います。

「家庭でも読書をしていますか」は、児童が 63.1%で、「家庭でも本を読むように声をかけている」は、保護者が 69.1%です。学校では、朝読書・読書バック・読み聞かせ・図書の購入など読書環境を整える取り組みを続けていますが、家庭での読書習慣がつく所まではっていないことがうかがえます。

安全に気を付け 心身をきたえる子（健やかな体）

「地域での遊びの時、安全に気をつけていますか」は、児童が 91.2%で、「安全（交通・防犯）について話をしている」は、保護者は、95.9%。教職員も 96.4%が安全指導を機会

あるごとに行っています。しかし、実際には交差点で一時停止しない飛び出しや、自転車の乗り方などが気にかかります。不審者情報もよせられることがありますので、防犯や交通安全について他人事ではなくどうすればよいか話して、意識して行動に移せるようにしていく必要があります。

学校・保護者・地域との連携

「地域主催の学校での取組に参加したいですか」は、児童が70.9%、「PTAや地域行事に進んで参加するように呼びかけている」は、保護者が62.2%にとどまっています。前期もPTAや地域の方の協力により、ふれあい土曜塾・納涼まつりなどいろいろな取り組みがありました。いつも楽しみに参加している児童もたくさんいます。

「学校・学年だよりなどから子どもや学校生活の様子が分かる」は、保護者が89.9%で、昨年と比べてA・B評価が増えています。今年は、学校ホームページの更新やPTAのメール配信を通して、学校の様子やPTA行事についての発信を増やしています。

<学校運営協議会より>

- ・全体的にC・D評価が少なく、A・B評価が高い点は、好ましい結果と言えます。教職員の方々のA評価が低い印象を受けますが、ここ数年の前期の結果を振り返ると微増しています。前期ということもあり、教職員の方々は、より良い指導ができたのではないかと考えられた結果ではないでしょうか。後期に向けて教職員の皆様がモチベーションを維持できるよう全体で取り組むことが必要だと思います。
- ・項目別に見ると⑥～⑪の項目で児童のC・D評価が多いようです。これらの項目は集計結果がなかなか良くなりません。自己表現や他者理解など小学生のうちに身につけたいところなので、有効で具体的な対策を考えていきたいと思います。
- ・学校評価の項目については、他校と同じ方が比較し共通の課題や本校の特徴が見えてくるとと思います。山科中学校・百々小学校と三校で連携していけるとよいのではないのでしょうか。
- ・健全な児童の育成は、学校・保護者・地域が一体となって進めていくことが必要です。学校運営協議会へのご協力をお願いします。

教職員の評価が昨年に比べ下がっている項目が多くなっていますが、取り組んでいないのではなく、結果として十分な成果があがっていない・改善の余地があると受け止めているということです。子どもたちの学力を保障し、今後より学習意欲を高めていけるよう、また、子ども達が仲間として楽しく過ごせる学校づくりについて、指導・工夫・充実が重要と考えています。教職員一同、更なる努力の必要性を感じています。

子どもたちへの教育は、保護者と学校の信頼関係が大切であり、学校は子どもたちの状況や保護者の思いをしっかりと受け止め、教育の充実に努めていきたいと考えています。今後とも家庭・地域と学校が連携を密にし、より具体的な取り組みを進めていくことが大切だと考えています。今後とも、ご支援・ご協力の程よろしくをお願いします。

平成28年度 前期 学校評価アンケート集計						
児…児童 保…保護者・地域 教…教職員 (%)						
	項目 (質問)	A	B	C	D	
①	児 学校生活は楽しいですか。	54.0	34.2	7.9	3.9	
	保 子どもは楽しく学校生活を送っている。	56.7	38.9	3.5	0.9	
	教 楽しい学級・仲間づくりに取り組んでいる。	69.2	30.8	0.0	0.0	
②	児 先生の授業は分かりやすいですか。	58.8	33.3	6.7	1.1	
	保 授業は分かりやすく工夫されている。	35.9	57.9	5.4	0.9	
	教 分かりやすい授業を工夫している。	57.7	42.3	0.0	0.0	
③	児 先生に大切にしてもらっていますか。	55.8	32.6	8.6	3.0	
	保 教職員は一人一人の子どもを大切にしている。	31.1	59.8	8.7	0.4	
	教 自己肯定感を育むように指導を工夫している。	55.2	44.8	0.0	0.0	
④	児 みんなと仲良く協力していますか。	60.0	29.0	8.3	2.7	
	保 学校・学年だよりなどから子どもの学校生活の様子が分かる。	36.1	51.1	9.2	3.6	
	教 学年・学級の様子が分かるたよりを工夫している。	48.0	44.0	8.0	0.0	
⑤	児 友達を大切にしていますか。	69.7	25.7	3.5	1.0	
	保 子どもは活躍できる場や認められる場がある。	31.0	59.3	9.2	0.4	
	教 一人一人を大切にする人権教育に取り組んでいる。	58.3	41.7	0.0	0.0	
⑥	児 困った時は先生に何でも相談できますか。	37.3	33.3	21.0	8.4	
	保 教職員は子どもからの相談に親身に対応している。	26.6	62.2	10.6	0.6	
	教 子どもと何でも相談できる学級づくりをしている。	54.2	45.8	0.0	0.0	
⑦	児 必ず宿題（自主勉強）をしていますか。	56.7	24.8	13.7	4.8	
	保 子どもに家庭学習をするように声をかけている。	48.9	42.8	6.5	1.8	
	教 家庭学習が身につくように、課題を与えている。	36.4	63.6	0.0	0.0	
⑧	児 家庭でも読書をしていますか。	38.6	24.5	15.4	21.4	
	保 家庭でも本を読むように声をかけている。	25.7	43.4	24.5	6.4	
	教 読書に親しむ教育環境づくりをしている。	45.8	45.8	8.3	0.0	
⑨	児 進んであいさつをし、丁寧な言葉づかいをしている。	41.8	39.3	14.0	4.8	
	保 あいさつと言葉づかいに注意をはらっている。	50.5	43.5	5.4	0.6	
	教 あいさつや言葉づかいを繰り返し指導している。	55.2	44.8	0.0	0.0	
⑩	児 学校であったこと・友達のことを家族に話していますか。	53.9	26.1	11.0	9.0	
	保 子どもとのふれあいや対話に心掛けている。	41.7	54.7	3.1	0.4	
	教 教育目標と目指す子ども像に向けて教育活動に取り組んでいる。	58.6	41.4	0.0	0.0	
⑪	児 地域主催の学校での取組に参加したいですか。	45.9	25.0	14.9	14.2	
	保 P T Aや地域行事に進んで参加するように呼びかけている。	17.7	43.5	28.4	10.3	
	教 P T Aや地域行事に参加するなど、連携を大切にしている。	36.7	40.0	23.3	0.0	
⑫	児 地域での遊びの時、安全に気を付けていますか。	65.1	26.1	6.1	2.7	
	保 安全（交通・防犯）について話をしている。	55.5	40.4	3.9	0.2	
	教 放課後の遊びや防犯・交通安全について指導している。	60.7	35.7	3.6	0.0	
A…よくあてはまる B…あてはまる C…どちらともいえない D…あてはまらない						

子どもたちの今と未来のため、社会のあらゆる場で
「京都市はぐくみ憲章」を実践しましょう！

